

2	法定	自主
○		

様式第二号のハ(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 26日

神奈川県知事 殿

提出者

住 所 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-5
住友不動産新横浜ビル3階

氏 名 住友不動産株式会社 新築そっくりさん事業本部
戸建て神奈川エリア統括 南澤 博
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 045-473-7673

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友不動産株式会社 新築そっくりさん事業本部 戸建て 神奈川エリア	自主管理番号 (2750)
事業場の所在地	神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-5 住友不動産新横浜ビル3階	TEL(連絡先): 045-473-7673
計画期間	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日(1年間)	

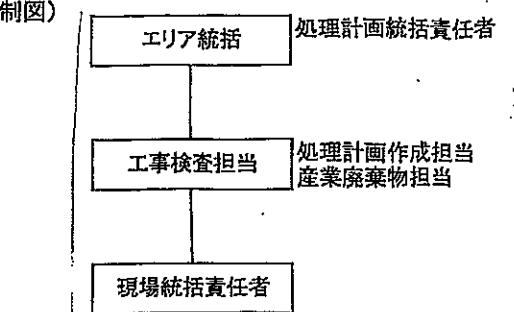
当該事業場に関する事項

① 事業の種類	D一建設業 (具体的には) まるごとリフォーム(増・改築工事)		
※ 前年度実績を 記入。医療機関は 前年度末時点の病 床数を記入。	製造業	製造品出荷額	百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	5700 百万円
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)		
③ 従業員数	57		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事の発生材はすべて契約処分業者に委託する。 ○廃プラ → 圧縮 → 原料化 ○紙くず → 破砕 → 原料化 ○木くず → 破砕 → 原料化 ○樹脂くず → 破砕 → 原料化 ○金属くず → 破砕 → 原料化 ○ガラス・コンクリート・陶磁器くず → 破砕・圧縮 → 再資源化 ○がれき類 → 破砕 → 再生砂石 ○混合廃棄物その他 → 焼却 → 管理型埋め立て		
※ 産業廃棄物の種類ごとに記入			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】					
産業廃棄物の種類数	8 種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。			
① 排出量	2,236.0 t				
(これまでに実施した取組)					
① 現状	梱包材を減らす。不要な材料を搬入させず、また使用させない事により廃棄物を出させないようにする。				
【(令和5年度)目標】					
産業廃棄物の種類数	8 種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。			
① 排出量	2,012.5 t				
(今後実施する予定の取組)					
② 計画	本事業はリフォーム工事の為、解体工事を極力抑え重ね張りを推奨する。				

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①廃プラスチック②紙くず③木くず④繊維くず⑤金属くず⑥ガラス・コンクリ・陶磁器くず⑦がれき類
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度(令和 4 年度)実績】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	t * 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
(これまでに実施した取組)			
① 現状	特になし		
【(令和 5 年度)目標】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
(今後実施する予定の取組)			
② 計画	特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度(令和 4 年度)実績】			
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	t * 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	t * 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
(これまでに実施した取組)			
① 現状	特になし		
【(令和 5 年度)目標】			
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
(今後実施する予定の取組)			
② 計画	特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

	<p>【前年度(令和 4 年度)実績】</p> <p>③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</p> <p>0 t</p> <p>(これまでに実施した取組)</p> <p>特になし</p>	<p>* 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。</p>											
<p>① 現状</p> <p>特になし</p>	<p>【(令和 5 年度)目標】</p> <p>③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</p> <p>t</p> <p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>特になし</p>	<p>* 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。</p>											
産業廃棄物の処理の委託に関する事項													
	<p>【前年度(令和 4 年度)実績】</p> <table> <tr> <td>⑩ 全処理委託量</td> <td>2,236.0 t</td> <td rowspan="5"> <p>* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。</p> </td> </tr> <tr> <td>⑪ 優良認定処理業者への処理委託量</td> <td>232.2 t</td> </tr> <tr> <td>⑫ 再生利用業者への処理委託量</td> <td>620.2 t</td> </tr> <tr> <td>⑬ 認定熱回収業者への処理委託量</td> <td>31.6 t</td> </tr> <tr> <td>⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>330.8 t</td> </tr> </table> <p>(これまでに実施した取組)</p> <p>委託基準を遵守出来る業者を選定しており、定期的に処理状況の現地確認を行っている。</p>		⑩ 全処理委託量	2,236.0 t	<p>* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。</p>	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	232.2 t	⑫ 再生利用業者への処理委託量	620.2 t	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	31.6 t	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	330.8 t
⑩ 全処理委託量	2,236.0 t	<p>* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。</p>											
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	232.2 t												
⑫ 再生利用業者への処理委託量	620.2 t												
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	31.6 t												
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	330.8 t												

【(令和5年度)目標】	
② 計画	⑩ 全処理委託量 2,012.5 t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 209.4 t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量 525.3 t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量 27.2 t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 323.7 t
	(今後実施する予定の取組) 電子マニフェストを導入しており、対応可能な処理業者であるとともに優良認定処理業者から選定している。委託処理業者に対しては、引き続き定期的に処理状況の現地確認を行う。
※ 事務処理欄	

* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。

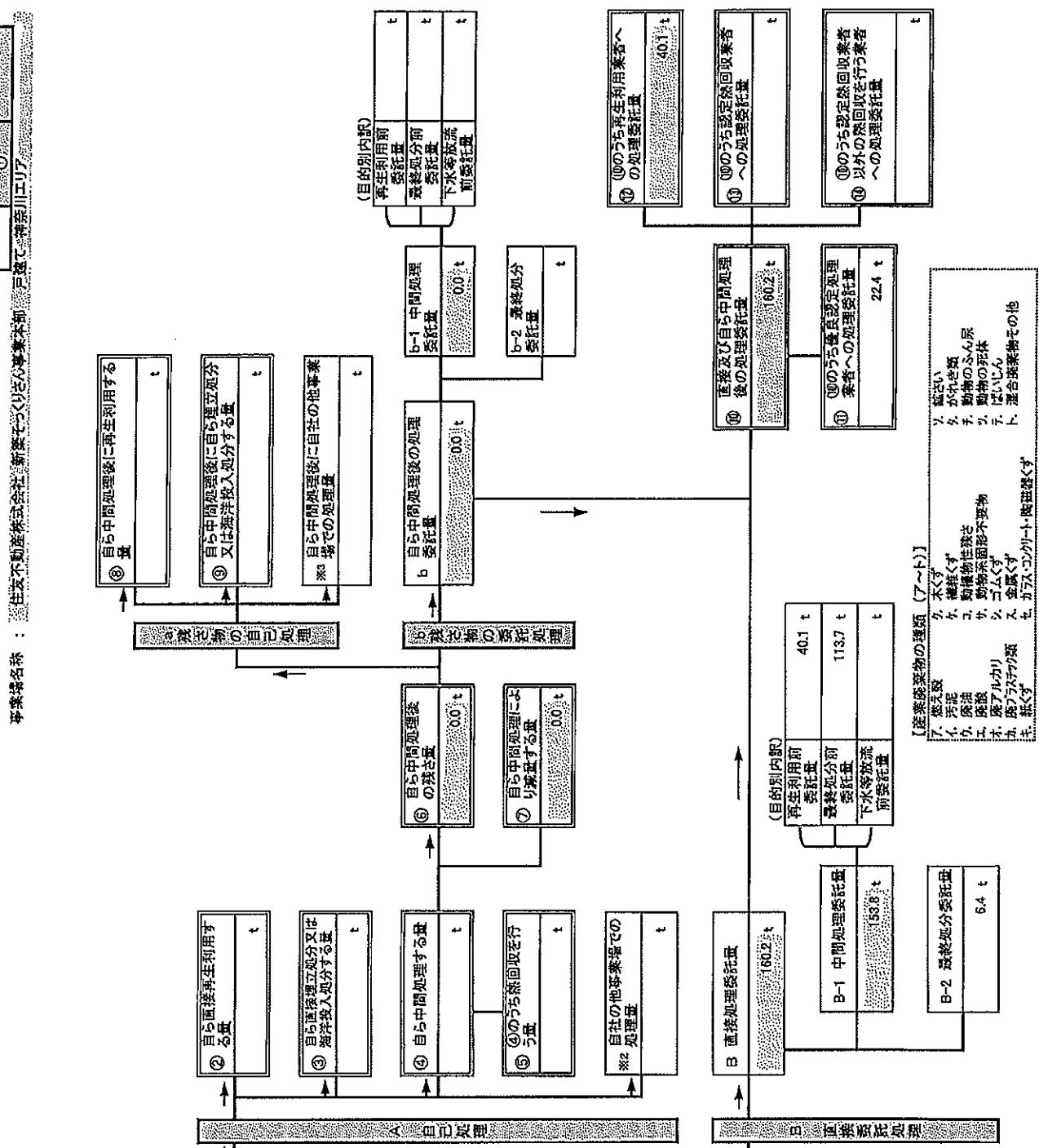
備考

- 1 この様式は、前年度(令和4年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
また、前年度(令和4年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあっては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和5年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー 令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

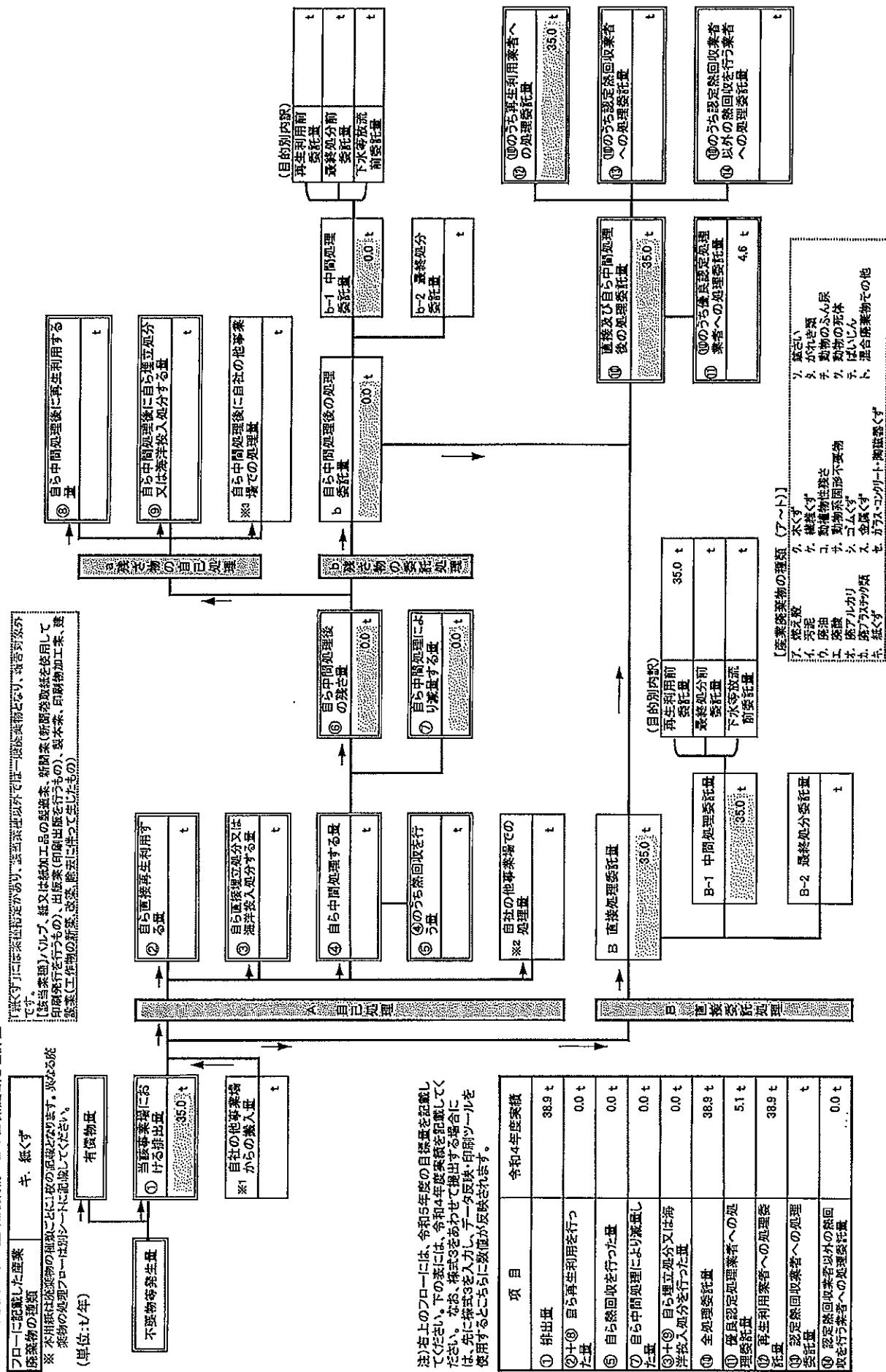
項目	令和4年度実績	目標量
① 錆出量	178.0 t	178.0 t
②+③ 直中間処理を行つた量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自然回収を行つた量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量し	0.0 t	0.0 t
⑨+⑩ 自ら立処分又は海上投入処分を行つた量	0.0 t	0.0 t
⑪ 全処理委託量	178.0 t	178.0 t
⑫ 優良認定処理業者への処理委託量	23.1 t	23.1 t
⑬ 再生利用業者への処理委託量	44.5 t	44.5 t
⑭ 認定自然回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑮ 認定自然回収業者以外の自然回収を行つ業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t



産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画



産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー 令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類
※ 不規則に発生する他の産業廃棄物は、別シートにて記載ください。

(単位:t/年)

不要物等発生量

当該事業場における排出量
※1 からの搬入量 t

有機物量

自ら直接処理する量 t

自ら直接陸揚げ処分する量 t

自ら中間処理する量 t

④のうち回収を行う量 t

自己処理

自社の他事業場での
廃棄物処理委託量

自ら中間処理による
回収量 t

自ら直接処理する量 t

自ら中間処理による
回収量 t

自己処理

自ら直接処理委託量

自ら直接処理する量 t

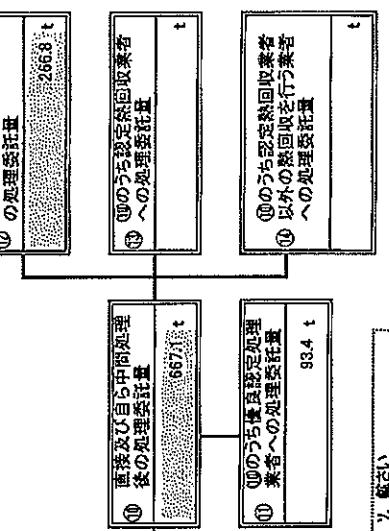
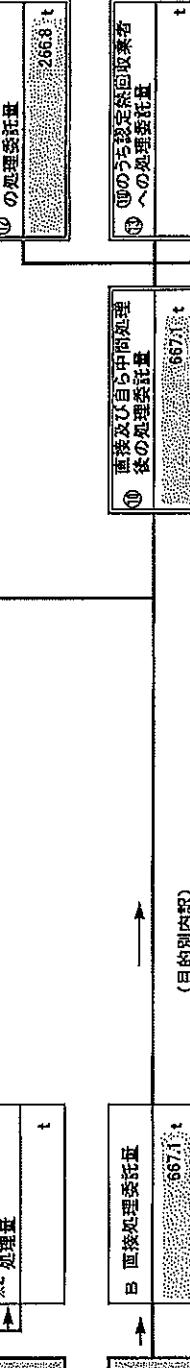
自己処理

自ら直接処理委託量

自ら直接処理する量 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】			
① 鉛出量	741.2 t		ク。木くず
②+③ 自ら再生利用を行う量	0.0 t		
⑤ 自然回収を行った量	0.0 t		
⑦ 自ら中間処理により処理した量	0.0 t		
⑨ 自然回収分又は海上投入処分を行った量	0.0 t		
⑪ 全處理委託量	741.2 t		
⑫ 優良認定処理業者への処理委託量	103.8 t		
⑬ 再生利用業者への処理委託量	333.5 t		
⑭ 認定緊急回収業者への必要委託量	0.0 t		
⑮ 認定緊急回収業者以外の緊急回収業者への処理委託量	0.0 t		

(目的別内訳)			
再生利用前 委託量	266.8 t		イ。燃え き材
最終処分前 委託量	400.3 t		ガ。汚泥 水
下水等放流 前委託量	t		チ。動物生糞 サ。動物糞便さ シ。ゴムくず エ。油



※右上のフローには、令和5年度の目標量を記載して下さい。左の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、揚式3をあわせて提出する場合は、揚式3を入力し、データ反映・印刷ツールをご使用するところからに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	741.2 t
②+③ 自ら再生利用を行う量	0.0 t
⑤ 自然回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により処理した量	0.0 t
⑨ 自然回収分又は海上投入処分を行った量	0.0 t
⑪ 全處理委託量	741.2 t
⑫ 優良認定処理業者への処理委託量	103.8 t
⑬ 再生利用業者への処理委託量	333.5 t
⑭ 認定緊急回収業者への必要委託量	0.0 t
⑮ 認定緊急回収業者以外の緊急回 収業者への処理委託量	0.0 t

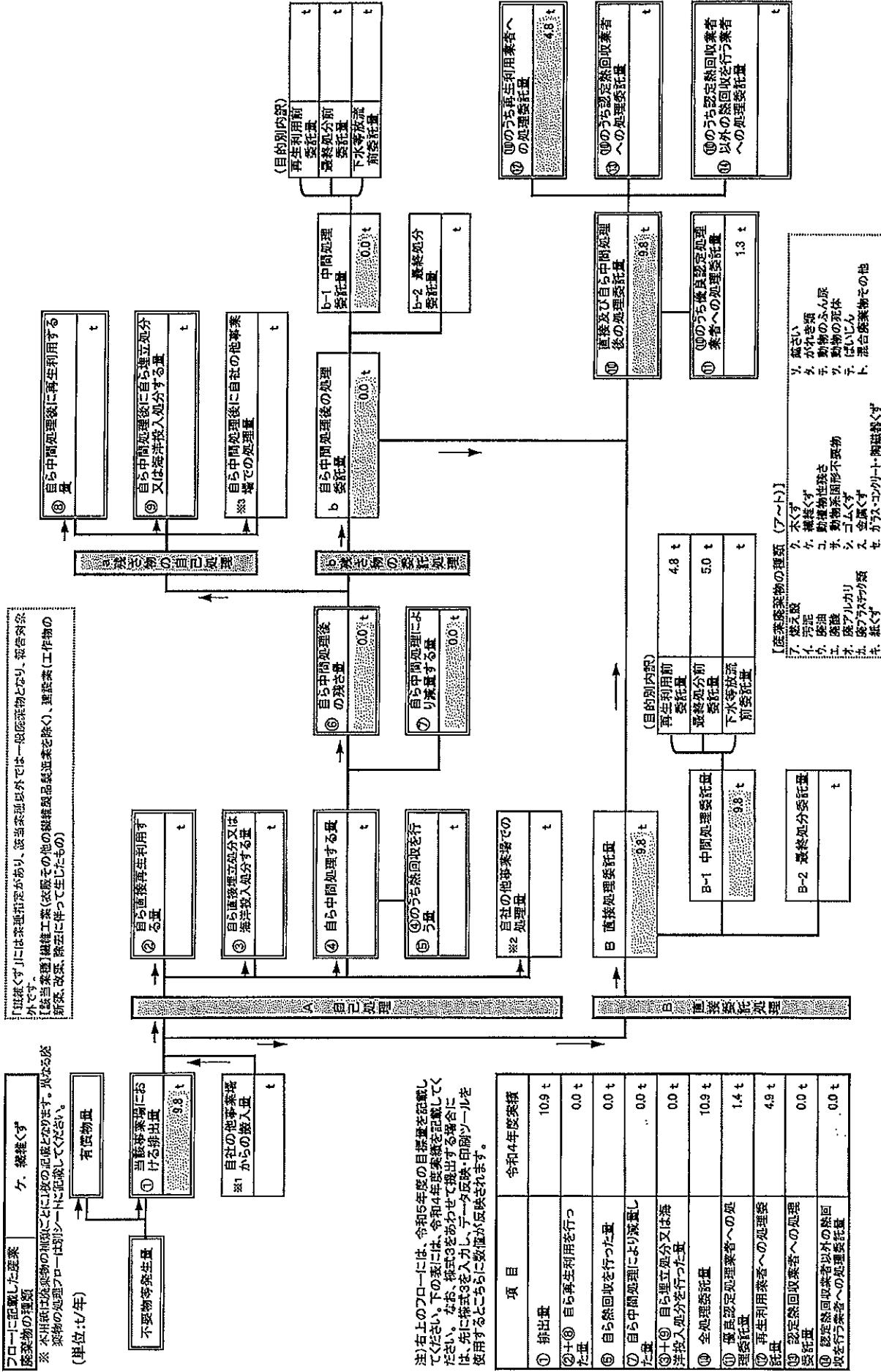
B-2 最終処分委託量 t			
------------------	--	--	--

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

ク。木くず
ガ。汚泥
水
チ。動物生糞
サ。動物糞便さ
シ。ゴムくず
エ。油
イ。燃え
き材
カ。油汚
物
カ。動物生糞
サ。動物糞便さ
シ。ゴムくず
エ。油
オ。油污
物
カ。動物糞便さ
シ。ゴムくず
エ。油
カ。油汚
物
カ。動物生糞
サ。動物糞便さ
シ。ゴムくず
エ。油
カ。油汚
物
カ。動物生糞
サ。動物糞便さ
シ。ゴムくず
エ。油
セ。ガラス・コアリート・樹脂器
ク。糊くす

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー 令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画



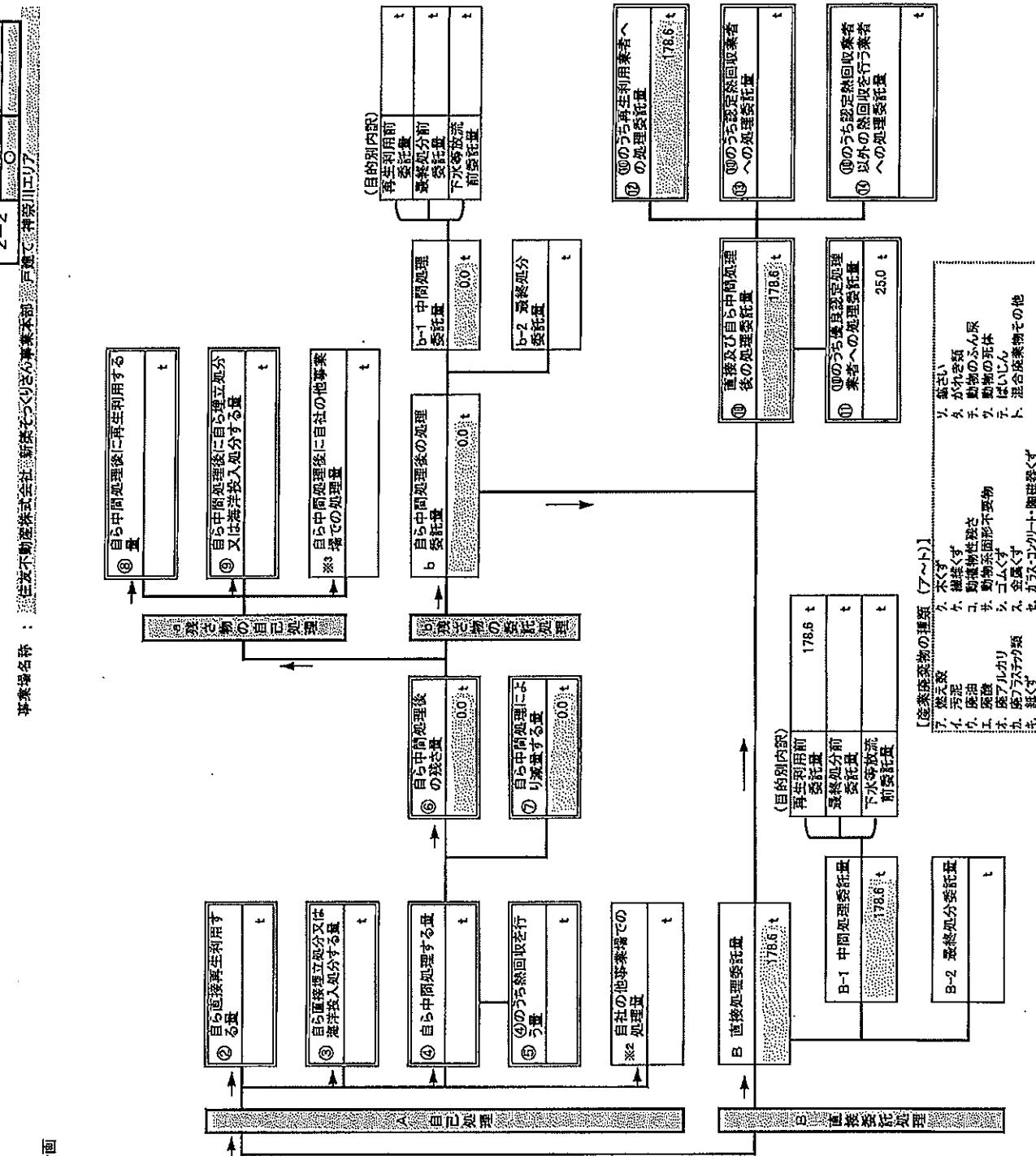
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー 令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

項目	令和4年度実績
① 排出量	198.4 t
②③④ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自然回収を行った量	0.0 t
⑥ 自ら中間処理により処理を行った量	0.0 t
⑦ ⑧⑨ 自ら処理又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	198.4 t
⑪ 良好認定処理業者への処理委託量	27.8 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	198.4 t
⑬ 認定自然回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定自然回収業者以外の自然回収を行った業者への処理委託量	0.0 t

* 不用記入箇所の他はごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



(注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式をあわせて提出する場合は、先に括弧をつけてデータ反映・印刷ツールを使用するところから数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	198.4 t
②③④ 自ら再生利用を行つた量	0.0 t
⑤ 自然回収を行つた量	0.0 t
⑥ 自ら中間処理により処理を行つた量	0.0 t
⑦ ⑧⑨ 自ら処理又は海洋投入処分を行つた量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	198.4 t
⑪ 良好認定処理業者への処理委託量	27.8 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	198.4 t
⑬ 認定自然回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定自然回収業者以外の自然回収を行つた業者への処理委託量	0.0 t

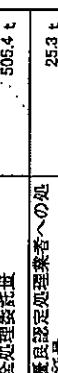
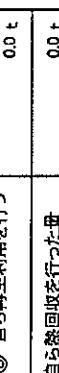
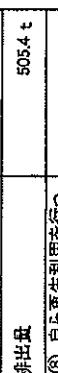
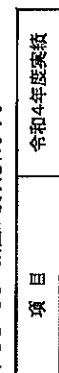
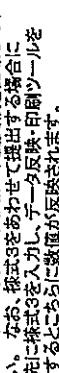
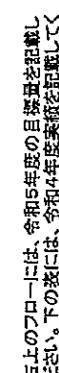
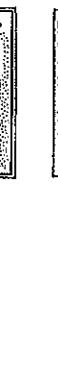
【産業廃棄物の種類（アヘド）】
ア.燃え易い
イ.燃え難い
ガ.可燃性
ハ.不可燃性
コ.動物性
サ.植物性
ジ.無形不動物
オ.工場施設
ホ.廃アルカリ
九.廃フタル酸類
ス.金属類
セ.ガラス・セメント
キ.紙くず

事業場名稱：三井住友不動産株式会社新潟支店
戸建て神奈川工場
主
2-2 途定

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー 令和15年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類
※本規則は廃棄物の種類ごとに区分の記載となります。異なる次
第物の処理フローは別シートにて記載してください。
(単位: t/年)



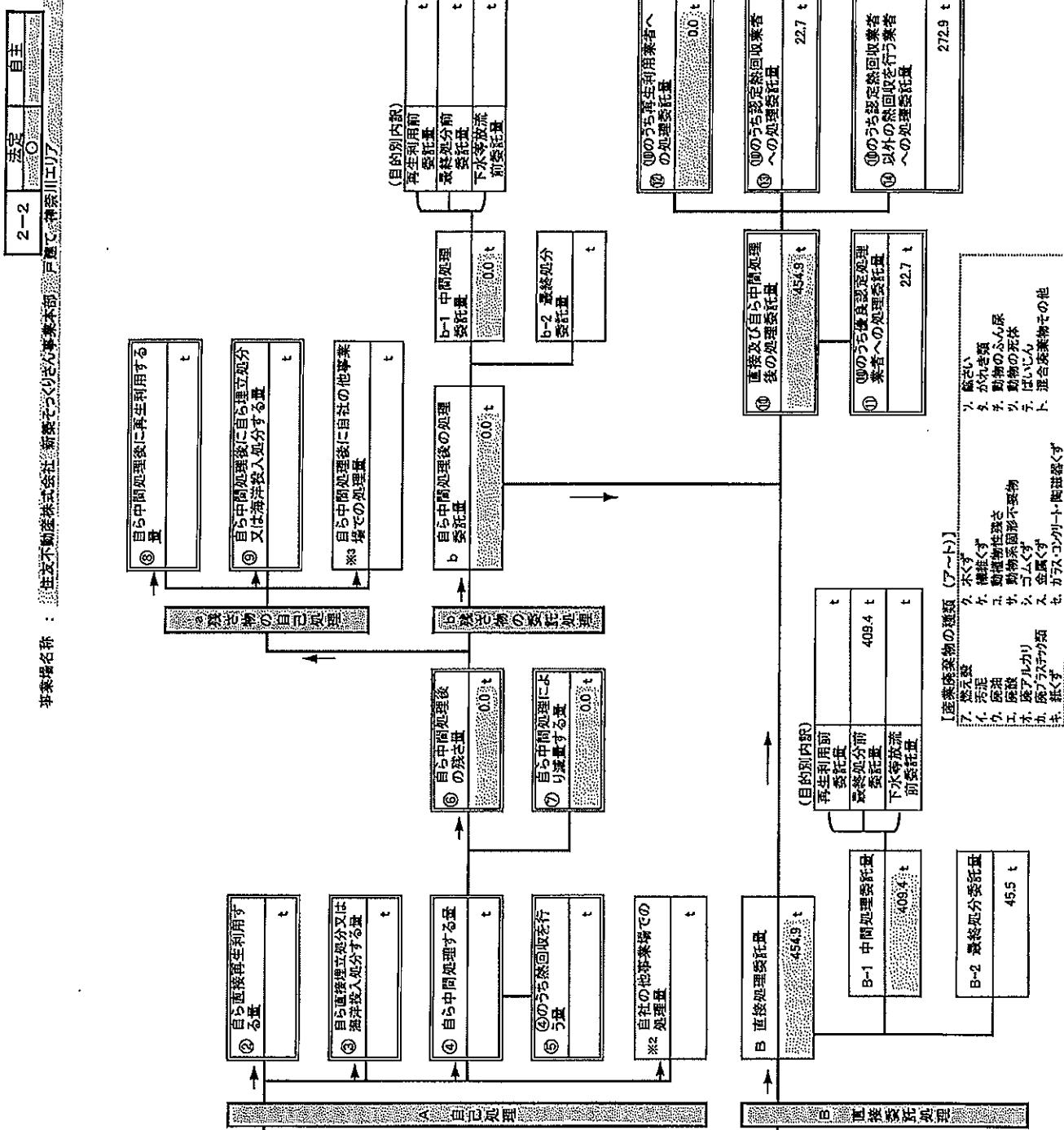
事業場名 :

生友不動産株式会社新築そつくりざく事業本部
〒236-0034 神奈川県川崎市中原区西川崎2-2

注)右上のフローには、令和15年度の目標量を記載してください。

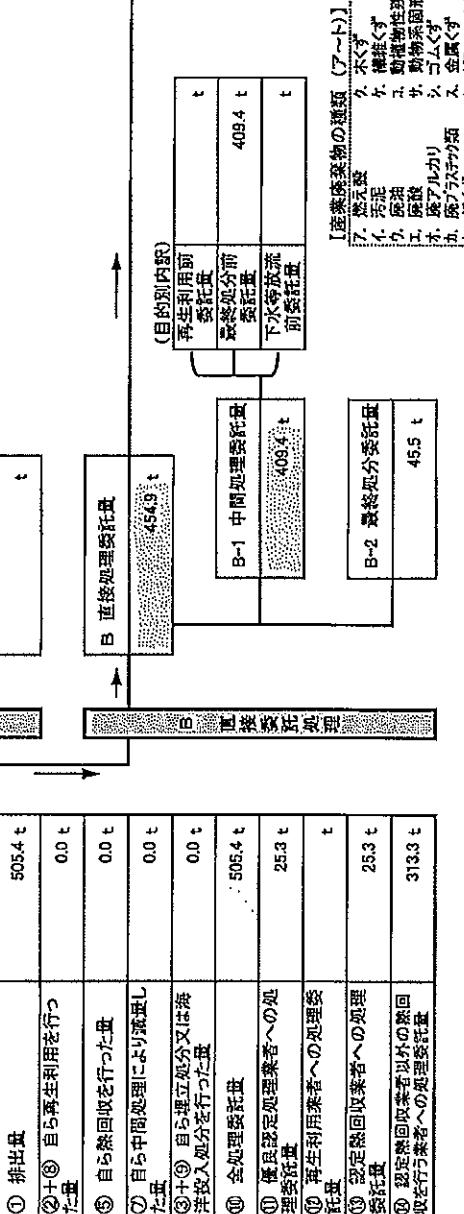
下の表には、令和14年度実績を記載してください。
なお、表は3をあわせて提出する場合に
は、先に表3を入力し、データ入力ツールを
使用することによってどちらに数値が反映されます。

項目	令和14年度実績
① 排出量	505.4 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
④ 自然回収を行った量	0.0 t
⑤ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑥+⑦ 自ら運搬して販売する量	0.0 t
⑧ ⑨のうち中間処理後 に自ら運搬して販売する量	405.4 t
⑩ ⑪のうち中間処理後 に自ら運搬して販売する量	25.3 t
⑫ ⑬のうち中間処理後 に自ら運搬して販売する量	25.3 t
⑭ ⑮のうち中間処理後 に自ら運搬して販売する量	25.3 t
⑯ ⑰のうち中間処理後 に自ら運搬して販売する量	313.3 t



注)右上のフローには、令和15年度の目標量を記載してください。
下の表には、令和14年度実績を記載してください。
なお、表は3をあわせて提出する場合に
は、先に表3を入力し、データ入力ツールを
使用することによってどちらに数値が反映されます。

項目	令和14年度実績
① 排出量	505.4 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
④ 自然回収を行った量	0.0 t
⑤ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑥+⑦ 自ら運搬して販売する量	0.0 t
⑧ ⑨のうち中間処理後 に自ら運搬して販売する量	405.4 t
⑩ ⑪のうち中間処理後 に自ら運搬して販売する量	25.3 t
⑫ ⑬のうち中間処理後 に自ら運搬して販売する量	25.3 t
⑭ ⑮のうち中間処理後 に自ら運搬して販売する量	25.3 t
⑯ ⑰のうち中間処理後 に自ら運搬して販売する量	313.3 t



産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類
※ 本附則は該当物の別紙二号に該当するが故に記載いたしました。
該当物のみ該当フローは別シートにて記載いたします。

(単位:t/a)

不要物等発生量

自社の他事業場における排出量
※1 から394.1 t

有償物量

当該事業場における排出量
※1 から394.1 t

自ら直接再生利用する量
※2 から0.0 t

自ら中間処理後に再利用する量
※3 又は海上投棄する量
t

自ら直接再生利用する量
※3 から0.0 t

自ら中間処理後に海上投棄する量
t

自ら中間処理後回収する量
※4 から0.0 t

自ら中間処理後に海上投棄する量
t

自ら中間処理後回収する量
※5 から0.0 t

自ら中間処理後に海上投棄する量
t

自ら中間処理後回収する量
※6 から0.0 t

自ら中間処理後に海上投棄する量
t

自ら中間処理後回収する量
※7 から0.0 t

自ら中間処理後に海上投棄する量
t

自ら中間処理後回収する量
※8 から0.0 t

自ら中間処理後に海上投棄する量
t

自ら中間処理後回収する量
※9 から0.0 t

自ら中間処理後に海上投棄する量
t

項目	令和4年度実績
① 排出量	437.9 t
②+③ 自ら再生利用を行う量	0.0 t
⑤ 自ら燃回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑨ 自ら中間処理又は海上投棄を行った量	0.0 t
⑪ 全処理委託量	437.9 t
⑫ 計定燃回収業者への処理委託量	394.1 t
⑬ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 計定燃回収業者以外の燃回収を行った業者への処理委託量	0.0 t

注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載しています。なお、様式3をおわせて提出する場合は、先に様式3を入れし、データ反映ツールを使用するところに変更が反映されます。

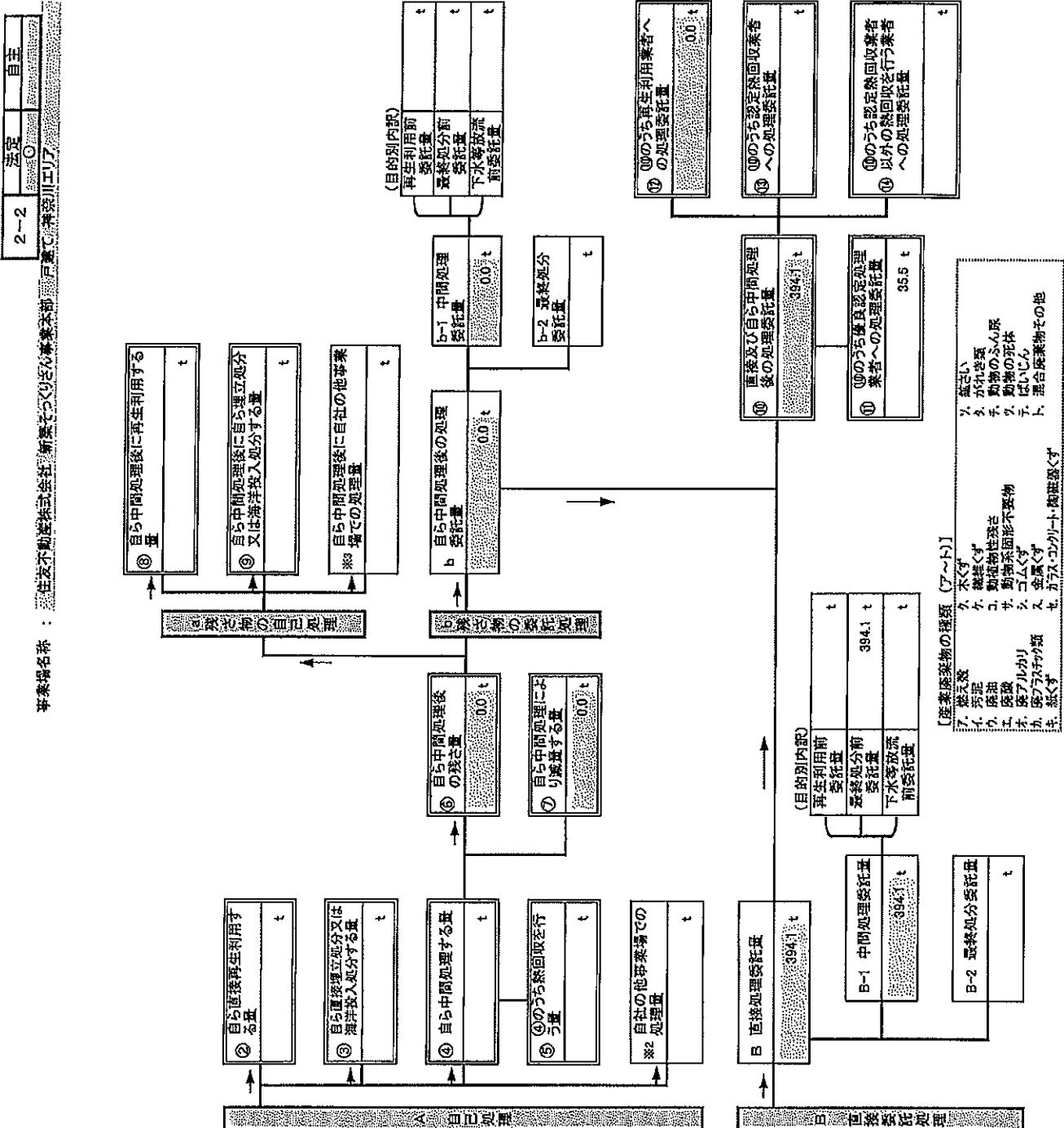
項目	令和4年度実績
① 排出量	437.9 t
②+③ 自ら再生利用を行う量	0.0 t
⑤ 自ら燃回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑨ 自ら中間処理又は海上投棄を行った量	0.0 t
⑪ 全処理委託量	437.9 t
⑫ 計定燃回収業者への処理委託量	394.1 t
⑬ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 計定燃回収業者以外の燃回収を行った業者への処理委託量	0.0 t

項目	令和4年度実績
① 計定燃回収業者への処理委託量	394.1 t
② 中間処理委託量	0.0 t
③ 直接委託量	394.1 t
④ 他の処理委託量	0.0 t
⑤ 他の処理業者への処理委託量	35.5 t
⑥ 直接及び自ら中間処理委託量	394.1 t
⑦ 他の処理委託量	0.0 t
⑧ 他の処理業者への処理委託量	35.5 t
⑨ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑩ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑪ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t

項目	令和4年度実績
① 計定燃回収業者への処理委託量	394.1 t
② 中間処理委託量	0.0 t
③ 直接委託量	394.1 t
④ 他の処理委託量	0.0 t
⑤ 他の処理業者への処理委託量	35.5 t
⑥ 直接及び自ら中間処理委託量	394.1 t
⑦ 他の処理委託量	0.0 t
⑧ 他の処理業者への処理委託量	35.5 t
⑨ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑩ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑪ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t

項目	令和4年度実績
① 計定燃回収業者への処理委託量	394.1 t
② 中間処理委託量	0.0 t
③ 直接委託量	394.1 t
④ 他の処理委託量	0.0 t
⑤ 他の処理業者への処理委託量	35.5 t
⑥ 直接及び自ら中間処理委託量	394.1 t
⑦ 他の処理委託量	0.0 t
⑧ 他の処理業者への処理委託量	35.5 t
⑨ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑩ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑪ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t

項目	令和4年度実績
① 計定燃回収業者への処理委託量	394.1 t
② 中間処理委託量	0.0 t
③ 直接委託量	394.1 t
④ 他の処理委託量	0.0 t
⑤ 他の処理業者への処理委託量	35.5 t
⑥ 直接及び自ら中間処理委託量	394.1 t
⑦ 他の処理委託量	0.0 t
⑧ 他の処理業者への処理委託量	35.5 t
⑨ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑩ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑪ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 他の処理業者への処理委託量	0.0 t



産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類
ト、混合廃棄物その他
※本指定行為実施の施設ごとに別に記載ください。
廃棄物の処理フローは別シートに記載ください。

(単位:t/年)

不要物等発生量

自社の他事業場
※1からの搬入量

1128 t

t

当該事業場に沿
ける排出量

1128 t

t

自ら直接受け利用す
る量

0.0 t

t

自ら直接廃棄又は
海洋投入処分する量

0.0 t

t

自ら直接受け利用す
る量

0.0 t

t

自ら中間処理後
に自社の他事業場
等での処理量

0.0 t

t

自ら中間処理後
に海洋投入処分する量

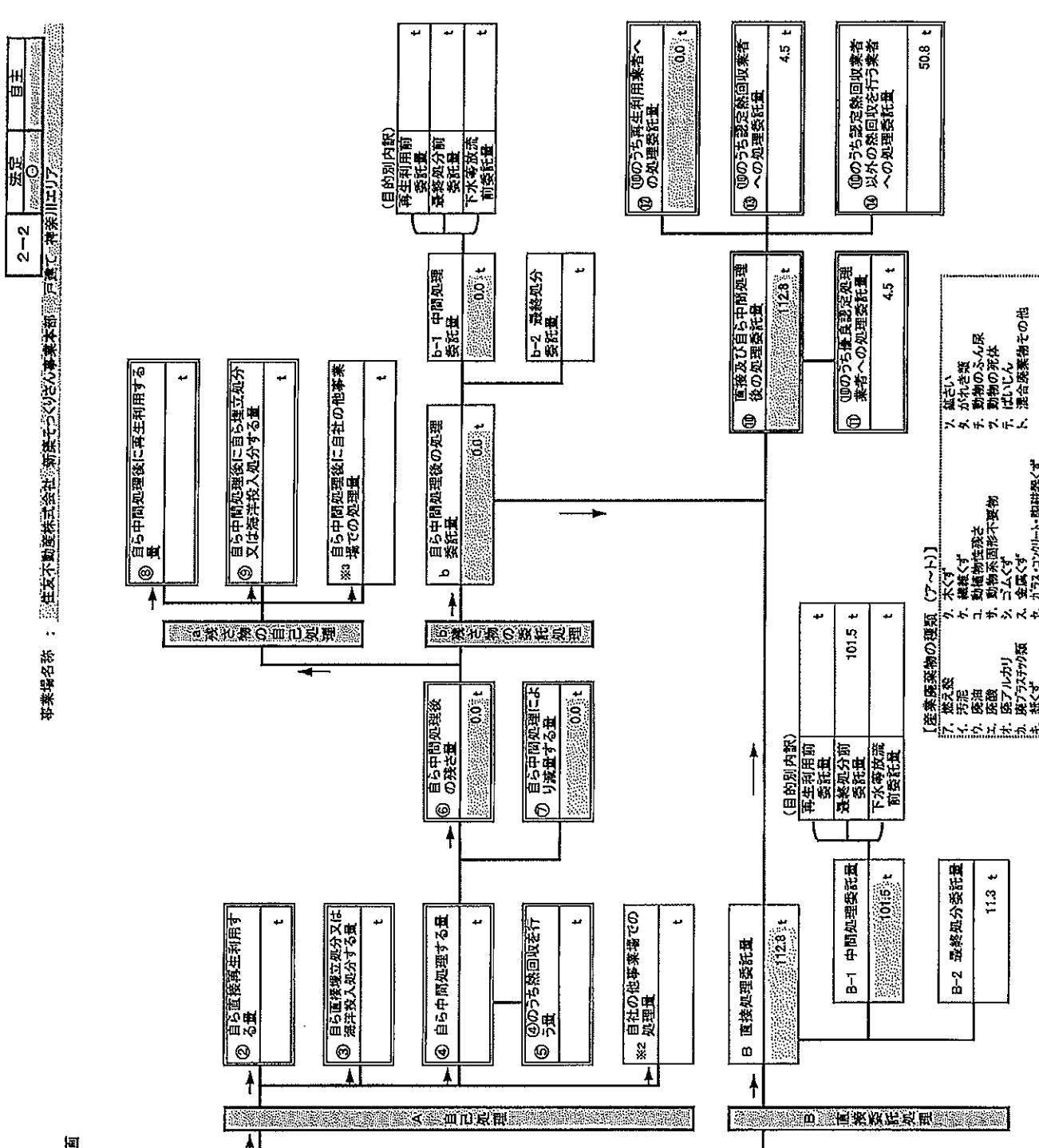
0.0 t

t

自ら中間処理後
に再生利用する
量

0.0 t

t



注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載して
ください。下の表には、令和4年度実績を記載して
ください。なお、株式3をあわせて提出する場合に
は、先に株式3を入力し、データ反映用ツールを使用するとごちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	125.3 t
②+⑧ 自ら再生利用を行つ た量	0.0 t
⑤ 自然回収を行つた量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により滅ぼし た量	0.0 t
⑨ 自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行つた量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	125.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処 理委託量	6.3 t
⑫ 再生利用率への處理委 託量	6.3 t
⑬ 認定然回収業者への処理 委託量	17.5 t
⑭ 認定然回収業者以外の然 回収を行ふ業者への処理委 託量	11.3 t

【産業廃棄物の種類(ア～ト)】

- ア、燃え废
タ、不燃
リ、燃焼くず
ル、燃焼性残さ
ル、動物系固形不要物
ル、ゴムくず
ル、金属性くず
ル、ガラス・エンド・陶磁器くず
ル、紙くず
ル、繊維くず
ル、動物系固体
ル、はごじん
ル、混合廃棄物その他
ル、未定

基盤構築・データ処理

2-1 法定